

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月12日(火) 14:30~16:00
- 3 開催場所 多治見高等学校 大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

向井 貴彦	岐阜大学地域科学部教授
小西 直哉	JR 東海多治見駅首席助役
田口 直佳	「やくならマグカップも」原作ディレクター
平野 智子	育友会副会長
村松 敦子	多治見市養正公民館館長
山内 英之亮	多治見市役所企画部企画防災課課長代理

学校側	増田 智至	校長
	川原 正史	教頭
	大野 和司	事務長
	清水 香織	教務主任
	桑原 華栄	進路指導部長
	星野 益也	生徒指導部長
	鈴木 貴博	特別活動部長
	加藤 元規	保健厚生部長
	下山 翔哉	教務部
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 校長挨拶
 - (2) 学校からの説明
 - (3) 学校運営協議会委員からのご意見・ご感想等
 - ① 授業の感想
 - ② 生徒の実態について
 - ③ 学校運営について
 - ④ 学校評価アンケートの結果について
 - ⑤ 本校の将来像を考えるための提言(本校に求めるもの)等
 - (4) 多治見高等学校 スクール・ミッションの策定について
 - (5) 諸連絡

授業参観、学校からの説明を踏まえ、委員から(3)に関して意見を得た。

- 意見1：会社でも鞆は複数持たず、一つの鞆にすべて収納するようにしている。鞆の数を増やすと忘れ物が増える。通学用指定鞆の廃止は適切な判断である。
- 意見2：生徒の様子を見ると、通学用指定鞆に荷物が入りきらないために、複数の鞆を用意している状況だ。現状に則していないのであれば、鞆を指定することにこだわる必要はない。
- 意見3：通学用鞆を指定した当時と現在の荷物の内容や量の変化を考慮して判断する必要がある。現状に照らした上での合理的判断であれば賛成である。
- 意見4：生徒の意見や保護者アンケートの結果を受けて、生徒が主体的に通学用鞆の自由化に向けて行動を起こしており、その自主性が素晴らしい。今後もこういった姿勢を大切にしてほしい。
- 意見5：生徒たちが、非常に真面目に落ち着いて授業を受けていた。ペアワーク等で積極的に相互交流する姿も見られて活気があった。進取的で興味が惹かれる面白い展開の授業や、プロジェクター等ICTを活用した授業も増えてきている。
- 意見6：通学用鞆自由化に向けての一連の過程は、自分たちの生活環境は自分たちの手でよりふさわしいものに変えてくことができるのだということを生徒自身が実感し、主体性を育む良い機会となった。
- 意見7：生徒たちの興味・関心をより一層惹くように、掲示物や化石標本のレイアウトを工夫するとよい。
- 意見8：授業だけではなく、学校行事などにも保護者が自由に参観できるようにしてほしい。
- 意見9：ICTの活用は合理化につながることもある。得意・不得意もあるだろうが、少しずつでも取組んでいくことが大切である。
- 意見10：様々な個性を持った教員がおり、持ち味に応じた実践がなされている。授業の手法については、これまで長年にわたって積み上げられてきたものがあり、直ちに変えることは難しい。「ICT活用が少ない」というアンケート結果は、さほど憂慮するものではない。
- 意見11：ホームページでは能動的に情報を取りに行かなければ学校の活動情報が伝達されない。各個人の端末に送信されるような方途があってもよい。
- 意見12：スクール・ミッションについては、提案のものを承認する（複数）。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、委員より学校運営に関する貴重な御意見を伺うとともに、本校に期待される社会的役割等（スクール・ミッション）についての承認を得た。